

北の農職家

KITA NO NOUSYOKUKA

2026

8

No.356



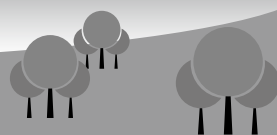
夏本番！ 小麦収穫作業始まる！

撮影日：7月17日（金）





JA情報館



JAつべつ女性部 道内視察研修を実施！

6月29日から1泊2日でJAつべつ女性部（石川あけみ部長）部員10名参加のもと視察研修を行いました。

JA本所を車3台で出発し、「クレードル食品株式会社」にて研修し、その後、「道の駅摩周温泉」を経由し、「あかん鶴雅ウイングス」に宿泊する行程で実施しました。

クレードル食品㈱では、会社の概要説明・工場見学・試食を行い工場見学では、蒸気でゆでた馬鈴薯の皮むき、センサーで取り切れなかった汚れた馬鈴薯の人による選別作業や瞬間冷凍による製品の箱詰めを見学しました。

徳永生産業務部長より、農産物の調達状況・食品製造業の取組み説明を受けました。臨時職員は、年間雇用していることから、原料がなくなる時期（1月～4月）は、千葉・茨城・青森産の人参生食選外品を調達し加工作業を行っています。

製品については、マッシュポテト・レトルトカレー・冷凍コロッケ・冷凍野菜・乾燥ゴールドマッシュを中心に製造しています。

同社は、1961年創業以来、当初は「乾燥マッシュポテト」「缶詰（ホワイトアスパラ・スイートコーン）」を製造してきたが、1990年に冷凍野菜（馬鈴薯・人参・南瓜・玉葱）の製造を開始し、冷凍食品を主要商品として事業展開しています。2019年に自社ブランド「オホーツク FOOD Lab」を立ち上げ通販サイトを活用し、ギフト商品も好調に販売されています。

工場自体は、オートメーション化が進みましたが、200名程の従業員が各ラインに配置されていることから、選別・調整・補助作業・梱包には



手作業による部分が多く、人員の確保が今後の課題とされていました。

2日間を通じて、大変有意義な視察研修を無事に終えました。

JA女性部＆フレッシュ・ミズ二部合同 第2回パン作り講習会を実施！

7月10日津別町食品加工研修センターにて、JAつべつ女性部10名、フレッシュ・ミズ2名の合計12名の参加のもと第2回パン作り講習会を開催しました。

今回は、蒸し暑い中、それぞれ各作業に分かれて水分を取りながらパン作りを行いました。



津別産の小麦粉『ツベツノカオリ』を使った、「あんパン・クリームパン・レーズンパン・コーヒークリームパン・甘納豆パン・チョコクリームパン・コッペパン」の7種類のパンを作り大変好評で、ふんわりと膨らんだパンが美味しく焼き上がりました。



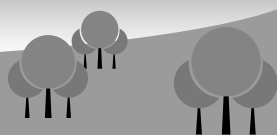
JA役職員による組合員全戸訪問を実施！

7月6日・7日の日程で、JA役職員による組合員全戸訪問を実施しました。例年7月上旬に実施しているもので、7班体制にて事前に配布した調査票に基づき各組合員宅や圃場を訪問し、農業振興方策として①現在かかえている経営上の課題について②堆肥利用について③その他JAに対する意見・要望の聞き取りと合わせて、かん水事業の実施に向けて意向調査を行いました。

組合員の皆様にはご多忙中ご協力賜り感謝申し上げます。全戸訪問の際の調査結果・意見等の集約については、8月14日の組勘配送時に報告させていただきます。



JA情報館



令和8年度 「津別町JA青年部」視察研修を実施！

7月6日にかけて、青年部部員18名が参加し視察研修を行いました。令和8年度の青年部の視察研修は、中標津町の「(有)希望農場」を視察致しました。

北海道中標津町は、人よりも牛の数が多くとされるほど酪農が根付いた地域で(有)希望農場は、この地で、ロボット搾乳やIT・AIを積極的に活用し先進的な技術を取り入れた酪農を展開しています。

17年ほど前に試験的に小麦の栽培を始め、難しいといわれた「小麦・大麦」栽培を行い2018年には中標津クラフトモルトティンギングジャパン(株)を設立し、自社の栽培した国産大麦を使用した「中標津ウイスキー」づくりにも挑戦しています。

更には、小豆や大豆の栽培にも積極的に取り組んでいました。ファーム内にとれた新鮮なミルク・小麦・小豆などを使用したカフェメニューが楽しめる【ファームカフェ「2π COWS CAFE」】が併設されていました。

日帰りの視察研修でしたが、青年部員は真剣に耳を傾け有意義な研修会となりました。



アソビバ! つべつ JA青年部と一緒に 「草取り&生育観察」を通じて「農業体験」を実施！

7月22日アソビバ! つべつの子供たち8名と青年部3名(西原部長、細川副部長、田原書記長)、JA青山職員の合計12名が参加して津別町教育委員会と連携し食農教育事業の一環として「草取り&生育観察」を通じて「農業体験」を実施しました。

最初に中央公民館に集まり、「サツマイモ」と「長ねぎ」の草取りと生育観察を達美の農場にて行いました。

次回のアソビバ! については、10月上旬頃に「サツマイモ」と「長ねぎ」の収穫をする予定です。

※この活動には、多面的機能支払交付金を活用しています。



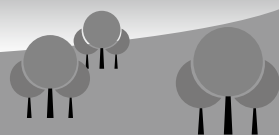
青年部の協力のもと廃プラ回収作業を実施！

7月1日活波事業所麦乾工場前にて、今年度第1回目の廃プラ回収作業をJAつべつ青年部(西原浩一郎部長)の協力を頂き実施しました。肥料袋や農薬等の空き容器を中心に93件、49.33トンの廃プラを回収しました。(前年:99件、51.7トン)第2回目の廃プラ回収作業は、廃タイヤ回収も加わり11月上旬頃を予定しています。





JA情報館



第74回 北見管内総合家畜共進会(肉牛の部)開催！ 主催：ホクレン農業協同組合連合会

7月17日（金）北見管内総合家畜施設（訓子府町）において、第74回北見管内総合家畜共進会（肉牛の部）がホクレン主催により開催され、北口雄大氏が第1部に2頭（103・104）迫田 隆氏が第1部に1頭（108）が出品されました。

この家畜共進会は、黒毛和種の品種毎の家畜月齢基準に基づき、第1部から第7部に分かれ7 J A全体出品頭数43頭により、北海道酪農畜産協会 家畜登録改良部 改良指導課 白澤主幹の審査により入賞牛が決定しました。

審査の結果、北口雄大氏の出品牛 第1部：103番（とこなつ 0835）が2等賞3席 104番（ぼんひめ 0834）が3等賞4席 迫田 隆氏の出品牛 第1部：108番（さこた 95288）が1等賞1席 に入賞されました。

尚、迫田 隆氏の出品牛『さこた 95288』1等1席については、8月に開催される全道共進会へ管内代表出品牛として選出されました。



▲迫田牛（1等賞1席）



令和8年度 「津別町スマート農業研究会」の視察研修を実施！

7月3日（金）に、津別町スマート農業研究会（金一善紀会長）は、6名が参加し令和8年度の視察研修を行いました。

東洋農機株式会社（本社工場）では、この時期は主力であるポテトハーベスターを個別の要望に可能な限り応えるよう製作が進められており、工場内の一部を見学させていただきました。

十勝農業試験場では、過去の研究のうち、自動操舵とセクションコントロールの効果について、衛星画像の土壤腐食値や NDVI 値から低 PH の可能性のある畑を見つける研究について説明頂きました。

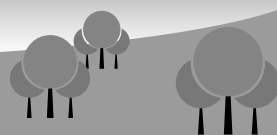
試験場として、技術開発だけでなく効果の定量（更にはその普及まで）を重要視していました。

北農研芽室拠点では、馬鈴薯の打撲黒変対策としての特別地温予測システムの普及・甜菜集荷の効率化について説明頂きました。津別では気象センサーを設置しシステムの普及に努めています。日帰りの視察研修でしたが、参加者は真剣に耳を傾け有意義な研修会となりました。





JA情報館



令和8年度「津別町農業法人会」の視察研修を実施！

6月25日（木）から1泊2日で6名参加のもと津別町農業法人会（羽田野慎也会長）の視察研修を行いました。

1日目は、清水町の「メロディーファーム」にて、代表の十川氏より法人立ち上げの経緯をお聞きし、社員の確保及び後継者育成に課題があること、人材不足・後継者不在の観点から労働力不足対策を進めていました。

次に栗山町の「栗山町農業振興公社」にて、公社の概要及び新規就農者への対応等をお聞きし、就農相談を受けてから2年間の農業研修を経て新規就農する流れで進めていました。2年間の研修期間である程度ふるいに掛けられるため就農後に高齢理由以外では離農した生産者はいないようです。又、就農希望者確保のため全国の各種新規就農面談イベント・フェアに出展し進めていました。

2日目は、北海道大学農学部（北海道農業会議佐藤氏・北大東山教授）にて、農業に関する法制度と昨今の農業情勢について講義頂きました。佐藤氏より、中山間地域等直接支払・多面的機能支払の説明があり、津別での申請のアドバイス頂きました。

2日間を通して、スマート農業の実勢により労働力をカバーし儲かる農業の再構築が進められ先端技術を駆使した栽培管理による農業の必要性を強く感じた意義ある視察研修が出来ました。



令和8年度

「津別町農業新規参入者受入協議会」の視察研修を実施！

6月25日（木）から1泊2日で4名参加のもと津別町農業新規参入者受入協議会（小林正弘会長）の視察研修を行いました。

1日目は、石狩市の「石狩市農業総合支援センター」にて、平成12年頃から新規就農を開始しており、石狩市では人柄を重視し研修を進めることで5年以内の離農はありません。

札幌近郊で就農する中で農業体験に参加した際の親身な指導と研修中・研修後も続くサポート体制が重要視されていました。

2日目は、赤井川村の「(有)どさんこ農産センター」にて、30年ほど前から新規就農者を受け入れしており、研修は2年間で研修後の就農率は100%で高齢以外による離農はありません。

特に新規就農にあたっては農地・家の購入希望に乖離があり、間を取り持つことがスムーズになれば就農もより一層うまく進みます。

2日間を通して、受入協議会では、施設園芸作物に新規就農者を呼び込むため、津別町農業の現状と受入体制窓口の整備の必要性を強く感じた意義ある視察研修が出来ました。



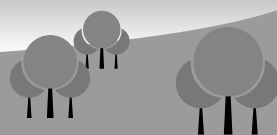
JAつべつ青年部活動をSNSページにて随時更新中です！
是非ご覧下さい！Facebook、Instagram

Facebook QR Instagram QR





JA情報館



令和8年度 カルビーフィールドデーを開催！ カルビー馬鈴薯生産組合

7月2日（木）カルビー馬鈴薯生産組合（柏木守組合長）は、生産者23名、カルビーポテト㈱8名、JA職員3名 合計34名参加のもとカルビーフィールドデー（講習会・圃場視察）を開催致しました。

柏木組合長の圃場において、「トヨシロ」「CP09」「スノーデン」「ぼろしり」の圃場、千葉充彦さんの「スノーデン」「ぼろしり」「トヨシロ」の圃場において生育状況の視察を実施し、カルビー貯蔵庫内で講習会を行い、特に嵐谷津別支所長及び入澤職員からは、「生育について、高温の影響により、既に枯れ始めている圃場（品種）も見られ、高温による病害発生も懸念される事から防除の徹底の説明がありました。

現在、津別は「トヨシロ」から「ぼろしり」に作付がシフトしている事から、より一層のカルビー向けの馬鈴薯の作付面積の拡大をお願いしたい。

圃場視察終了後、本岐パークゴルフ場へ移動し各組に分かれパークゴルフで有意義な交流会を実施しました。

パークゴルフ終了後、来組された西日本事業本部・鹿児島工場・北海道工場・新宇都宮工場・西オホーツク馬鈴薯事業所の皆さんを囲んで懇親会を行いました。



セレッソ大阪ヤンマーレディース 「トレーニングキャンプ」 歓迎セレモニーを実施！

女子サッカーチームの「セレッソ大阪ヤンマーレディース」が津別町ヘトレーニングキャンプのため来町し、「つべつサッカー少年団」の子供たちも出迎え、7月27日（月）町多目的運動公園グラウンドで合宿を開始し歓迎セレモニーが開催されました。



JAつべつは、地域貢献活動の一環として地元産食材を提供し、安部組合長より、「津別町の農産物：じゃがいも（有すばる）・玉ねぎ（㈱鹿中農場）・オーガニック牛乳」を食して練習に励んで下さい。」と贈呈致しました。トレーニングキャンプは、7月27日から8月2日の1週間実施されました。

人事考課制度に伴う被考課者向け研修会を開催！

人事考課制度は、平成26年度より本格的な導入をして11年が経過していることから、人事考課制度をより深く離解いただくため、被考課者向けの研修会を開催しました。

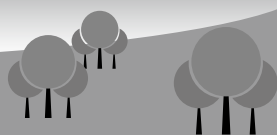
7月9日（木）・10日（金）の2日間にて開催時間を区切り、中西参事の講師により対象職員31名が出席し仕組みや評価方法等の理解を深めました。

- ※研修内容
- ①人事考課の基本を学ぶ
 - ②チャレンジシートの作成について
 - ③人事考課表の作成について
 - ④質疑応答





JA情報館



夏本番！小麦収穫作業始まる！ 7月中に秋小麦の収穫終了する！！

7月15日（水）に小麦圃場の検見終了後、小麦収穫委員会が開催され、各作業班の「収穫委員」と「検見委員」が参集し、事務局より「小麦コンバイン安全作業マニュアル」の徹底確認の説明と美幌警察署より「交通安全講話」を実施し収穫開始時期等の協議をしました。又、新型コンバイン（クラス）導入による講習会を含めて実施しました。

収穫委員会の協議の結果、昨年より3日遅い7月17日（金）より令和8年産小麦の収穫作業が始まりました。収穫開始後は、連日25を越えの曇天の中でありましたが順調に作業が進み、秋まき小麦の受入は、昨年より5日遅い7月29日（水）に無事終了し7月中に秋まき小麦の受入れは終了しました。

春まき小麦の収穫は、8月2日からスタートし、8月5日に無事終了しました。

今年産の小麦受入作付面積は、きたほなみ416.11ha、ゆめちから261.30ha、春よ恋37.36ha 合計714.77haです。職員も小麦受入業務を当番制で勤務しての受入体制となっています。

又、「麦乾工場の増強及びトラックスケールの新設」に伴い、3年目を迎えた小麦受入システムが稼働し受入を開始しました。

特に最新の受入時の小麦の「サンプル採取」から「自主検装置による麦検査」迄の作業工程が改善され、効率の良い受入システムの構築がされています。



令和8年度 小麦収穫機安全祈願祭を実施！

7月9日（木）午前9時より、達美のコンバイン車庫にて、JA役職員・小麦振興会役員・日本ニューホランド(株)の関係者 計18名が出席し、小麦収穫を目前に控えた小麦コンバイン導入による令和8年度小麦収穫機入魂式並びに安全祈願祭が執り行われました。



津別町肉牛振興会 津別町酪農振興会

交流会を開催！ 親睦会を開催！

津別町肉牛振興会（迫田 隆会長）は、7月10日（金）午後6時より「活汲施設」にて焼き肉を囲み、酪農振興会（柏葉 宏樹会長）は、7月13日（月）午前11時より「日本ミート」にてジンギスカンを囲み、振興会員家族と各関係機関及び普及センター参加のもと、交流会・親睦会を開催しました。

この交流会は、一時仕事を離れ関係機関と振興会員との意見交換の場として満喫できた有意義な交流会となりました。



営農課からのお知らせ

8月中旬から9月中旬までの営農技術について

畑作物

【秋まき小麦】

収穫跡地の管理

(1) 秋まき小麦の連作は、雪腐病、条斑病、ふ枯病、立枯病、眼紋病、コムギ縞萎縮病、ムギ類萎縮病及びなまぐさ黒穂病等の病害の発生を助長するので、3年以上の輪作を行ってください。また、品種を変えて連作することで、混麦のリスクも高まります。

近年津別町では縞萎縮病、眼紋病、条斑病、ふ枯病が連作により拡大しています。

(2) 麦稈の堆肥化と後作緑肥の導入

収穫後、麦稈は速やかに持ち出し、堆肥化を図って下さい。また、収穫跡地に堆肥の投入や、緑肥作物を導入し、地力の維持・向上に努めて下さい。

緑肥栽培に当たっては、緑肥の導入効果を高めるため、麦の収穫後速やかに播種し、収量を確保することが重要です。すき込みは緑肥の種子が成熟する前に行ってください。

(3) 透排水性改善

停滞水がある圃場では後作物で生育が劣るほか、病害等に罹病しやすくなります。このため、粘質土壌の圃場や耕盤層が形成され透水性の劣る圃場では、心土破碎や簡易暗きょなどを施工しておきましょう。

心土破碎は土壌が適湿時に施工する。特に水分が高いと、練り返しや土壌構造の破壊などによって十分な改善効果が得られず、逆に透排水性を悪化させる場合があるので注意して下さい。

(4) 小麦の播種適期・播種量

津別町における秋まき小麦（きたほなみ）の適期はその後の積算気温から9月19日とされています。しかし、ここ数年早播きが増えていて、縞萎縮病の春先の激発を招いています。過去に縞萎縮病の発生が確認された圃場については、感染期間を短くするため、適期以降の播種をお勧めします。但し、遅くなりすぎると減収にもつながりますので9月25～29日の間での播種をお願いします。

また、播種量についても近年秋が長く、越冬前、越冬後の茎数が多い傾向が見られます6～8kg/10aが適正量となります。種子の発注についても10a当り7kg程度を目安として下さい。



【ばれいしょ】

収穫は、2～3日晴天が続き、土壌がある程度乾いて塊茎に付着しない状態で行ってください。収穫作業は、塊茎に皮むけ、傷、打撲、堀残しを生じないように収穫機の調整・作業速度に留意が必要です。また、コンテナ等への収納作業においても、塊茎に衝撃を与えないよう注意するとともに、選別・運搬・風乾時の取り扱いは丁寧に行ってください。

収穫後の塊茎は水分が高く、呼吸熱などにより傷から雑菌が侵入しやすく、貯蔵性が悪くなるので十分に風乾を行ってください。



【豆 類】

(1) 菌核病、灰色かび病、炭そ病

菌核病・炭そ病は、開花期以降の多湿、灰色かび病は、低温多湿で発生が多くなるので、気象状況や生育ステージに注意して適期に防除して下さい。なお、灰色かび病では、トップジンM水和剤に対する耐性菌が認められているので、「防除ガイド」を遵守して適切な薬剤防除を行う必要があります。

(2) マメシクイガ（大豆）

成虫の発生期は訓子府町（北見農試）で平年7月31日ですが道央地区では2週間ほど発生が早まっています。大豆の生育も進んでいますが、産卵初め頃が防除適期で、成虫初発期及び莢伸長始（長さが2～3cmに達した莢が全体の40～50%の株に認められた日）を指標に散布時期を把握する必要があります。

莢伸長始の6日後を目処に、ピレスロイド系又はジアミド系殺虫剤を散布し、その10日後に有機リン系剤を散布すると効果的です。

昨年は大型のカメムシによる被害が道南地区で発生しています。ほ場観察を行い発生が多いようであればカメムシの登録のある薬剤で防除して下さい。

(3) 除 草

雑草発生が多い圃場では、雑草が結実する前に抜き取りを行い、翌年以降の雑草の発生防止に努める必要があります。特に、大豆の立毛中に秋まき小麦を播種する計画がある場合は、秋まき小麦ばらまき1か月前までにイネ科除草剤散布を終わらせて下さい。イネ科除草剤の使用が遅れると後作の小麦に薬害を出す恐れがあります



園 芸 作 物

【たまねぎ】

(1) 収 穫

収穫は、根切り後15～20日目頃を目安に、茎葉（首部）の枯れ上がりを確認してから、土壌が乾燥している晴天日に行いコンテナに収納して下さい。腐敗球がある場合は、収穫前に選別・除去し、絶対に製品へ混入させないことが重要です。

収穫後は、雨が当たらないように風通しの良い場所でしっかり風乾してから入庫し、貯蔵性を高めて下さい。



【かぼちゃ】

うどんこ病により茎葉の枯死が増加すると、日焼け果の発生が助長されるので、適切に薬剤散布を行って下さい。

収穫期を迎えますが、未熟果の混入を防ぐため、外観だけで判断せず、必ず試し切りで内部品質を確認し、適熟果を収穫するようにして下さい。また、貯蔵・流通中の腐敗果を防止するため、降雨時および降雨直後の収穫は避ける必要があります。



JAつべつ

2026

サファ キャンペーン



開催期間

7/13日→8/31日



1年定期お申し込みで

キャンペーン金利 令和8年7月8日現在
金利情勢により変動する場合がございます

店頭
金利

プラス

0.2% → 0.600% (税引前)

3年定期お申し込みで

店頭
金利

プラス

0.2% → 0.775% (税引前)

定期貯金

契約額 10万円以上

預入期間 1年または3年

ご
契
約
の
方

よりぞう圧縮できる
トラベルポーチ
プレゼント!!

数量
限定



対象
条件

1. 個人のお客様に限ります。
2. お預入は、新たにお預入いただく資金といたします。定期積金満期後の預入条件を満たしたお預入も対象です。
3. 初回満期時の自動継続後は、継続日における店頭金利を適用します。
4. 中途解約された場合は、当JA所定の中途解約利率を適用させていただきます。
5. 定期貯金/預入期間1年または3年。
6. 預入金額10万円以上1,000万円未満の新規または増額書換。(但し、満期の利息分は増額に含めません)
7. 複数同一名義は1点に限らせて頂きます。

津別町農業協同組合

金融共済課

☎77-3170

知って得する農業者年金

農業者の方は、
国民年金の上乗せの公的な年金「農業者年金」
に加入して安心して豊かな老後を！

終身年金で
安心！

ポイント
1

「終身年金」

のため
人生100年時代
でも安心!!

ポイント
2

一定の要件を
満たす方には、
保険料の
国庫補助

ポイント
3

税制面で
大きな
優遇措置

農業者年金へは、次の要件を満たす方ならどなたでも加入できます。

年間60日以上
農業に従事

国民年金第1号
被保険者

国民年金保険料納付免除者を除く。

原則60歳未満

国民年金の任意加入被保険者で
あれば、60歳以上65歳未満で
加入が可能です。

詳しくは… 農業者年金

検索

<https://www.nounen.go.jp>



年金友の会情報

第3回 ゲートボール大会

開催日：令和8年7月16日（木）

開催場所：豊永 屋内ゲートボール場

優勝：鹿中チーム【鹿中 順一・佐藤 朝代・
佐藤 正明・鍛冶 博光・奥村 照子】

準優勝：山田チーム【山田 照夫・細川 恵市・溝渕サカエ・笠井キヨ子・五島 良雄】

3位：丸尾チーム【丸尾 諭・堂藤 優・細川 順弘・長尾 隆行・幅口 悦子・山下 昌子】

4位：佐野チーム【佐野 信子・小野 勇・土江 幸子・手賀 武一・北本 孝子】

5位：井上チーム【井上 隆幸・柏木 茂・鍋田 康史・佐藤 卒子・新山 和子・藤原 熊男】



第3回 囲碁大会

開催日：令和8年7月15日（水）

開催場所：JAつべつ 2階和室

参加者：5名

優勝：三島 宏章 五段格 【3勝0負】

準優勝：下川 敏章 五段格 【2勝1負】

3位：金田 義見 五段 【1勝1負】



第3回 パークゴルフ大会

開催日：令和8年7月9日（木）

開催場所：豊永 さくら・いちいコース

男性の部

優勝：鍛冶 博光 (107) **5位**：池田 康博 (107)

準優勝：三島 宏章 (107) **6位**：古澤 秀明 (108)

3位：土屋 昇 (107) **7位**：幅口 功 (111)

4位：鹿中 順一 (107)

女性の部

優勝：斉藤 清子 (116) **5位**：佐野 信子 (122)

準優勝：萬 サト (117) **6位**：佐藤さより (122)

3位：細川 芳子 (119) **7位**：藤原 清恵 (123)

4位：赤池 奎子 (121)

※ホールインワン賞 (5名)

鍛冶 博光・土屋 昇・鹿中 順一・細川 順弘・細川 芳子



第22回 JAつべつ杯パークゴルフ大会を開催します！

開催日：令和8年9月6日（日） 開会式8：30～（受付8：25迄） 開会式終了後競技開始
（雨天の場合は、当日の判断となりますので必ず集合して下さい）

- ・開催場所 津別町豊永ふれあい公園 パークゴルフ場（36ホール）
- ・募集人数 60名（定員になり次第締切させていただきます）
- ・締切日 令和8年8月26日（水）まで
- ・参加条件 津別町パークゴルフ協会員及び一般の方（町内在住・町内勤務者：町外在住者含む）
- ・申込先 一般の方 … 必ず「ふれあい公園パークゴルフ場掲示板」への記入をお願いします。
※津別町パークゴルフ協会員の方 … 同様に申込み下さい。

てん菜 耕作者 募集中！

てん菜作付けのメリット！

- ・輪作体系にてん菜を入れて各作物の病害発生リスクを低下！
- ・収穫残渣を鋤き込むことにより地力アップ！
- ・他作物との収穫作業時期の分散！

てん菜の風向きが変わった！

- ・令和8年より基準糖分変更
16.6%→15.7% -0.9%
- ・数量払単価も増額
5,070円→5,090円
- 6t/10aの方なら・・・
3,468円/10aの増額！！

播種・収穫作業はコントラにおまかせ！

- 春、秋の繁忙期に労力分散を！
JAコントラが直播の播種・収穫まで行います
- ・播種委託
約5,500円/10a(税・燃料代別)
- ・収穫委託
約13,000円/10a(税・燃料代別)



お問合せ・ご相談はこちらまで

JAつべつ

経済部 農産課 0152-76-3473

井上一樹

日本甜菜製糖(株) 0152-76-2661

津別原料事務所

阿部和彦

奥山泰輝

8月下旬・9月上旬の主な行事

8月	16日	日		9月	1日	火	経営会議
	17日	月			2日	水	甜菜輸送人合同会議
	18日	火	企画会議 外郭団体意見交換会		3日	木	
	19日	水			4日	金	
	20日	木			5日	土	
	21日	金			6日	日	J A つべつ杯パークゴルフ大会
	22日	土	網走流域の会会員交流会		7日	月	
	23日	日			8日	火	
	24日	月			9日	水	秋季例大祭～10日 年金友の会囲碁大会
	25日	火			10日	木	
	26日	水			11日	金	
	27日	木	道東4ブロック青年部研修会		12日	土	
	28日	金	家畜の碑参拝・理事会		13日	日	
	29日	土			14日	月	
	30日	日			15日	火	
	31日	月	棚卸監査		16日	水	

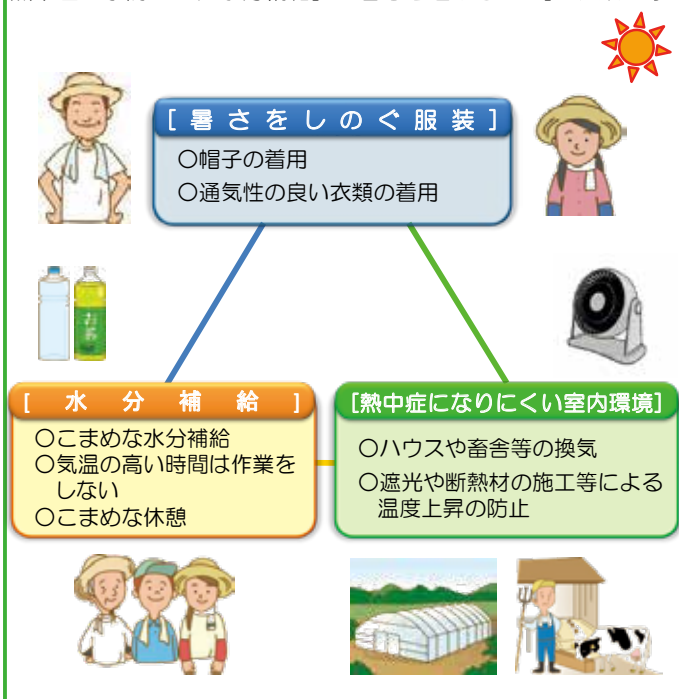
農作業中の熱中症に注意しましょう!

～熱中症は適切な予防をすれば防ぐことができます～

暑さに体が慣れていない梅雨明け直後に、農作業中の熱中症事故が多発しています。熱中症を正しく理解し、予防に努めてください。

熱中症の予防法

熱中症の予防には、「水分補給」と「暑さを避けること」が大切です!



農林水産省

農業方エール!

報告事項

- ① 令和8年6月末財務状況について
- ② 燃料手当の支給について
- ③ 特定組合員の経営状況について
- ④ 融資実行状況について
- ⑤ 固定資産の取得について
- ⑥ 各作物の状況及び生産者団体の活動状況について
- ⑦ 各課報告事項について

第六回理事会報告

開催日 令和8年7月17日

付議事項

- 議案第1号 固定資産の取得について
- 議案第2号 人事労務基本法の改正について
- 議案第3号 職制規程の改正について
- 議案第4号 農地保有合理化事業に伴う確約書の提出について

協議事項

- ① 全戸訪問にかかる意見集約について